

レスキュー練習会・海上パトロール

令和2年4月25日

- 日時：令和2年4月11日（土） レスキュー練習会 9：00～12：00
4月19日（日） 海上パトロール 9：00～12：00

■ 場所：マリパーク御前崎、御前崎沿岸

■ 参加者：増田(洋)、福井、藤井 増田(一) 土屋、河原崎、東山、小野、勝俣、大滝

4月も3月同様、海上パトロールと練習会を計3回設ける予定にしていたが、日本政府が全国に非常事態宣言を発令したことにより、練習会が1つ中止になってしまい、計2回の開催となった。また新型コロナウイルス感染予防のため、実施前後のミーティングを割愛し、水上オートバイ上でも常に距離を取るよう意識して活動した。

4月11日の練習会では参加者が多かったため、同じ場所にメンバーが滞留することのないよう、ステーションをいくつか設定し、それをローテーションしながらの練習とした。参加者の接触を避けるためフォーメーションなど細かな練習はできなかったが、参加者したメンバーが課題を持って取り組んだおかげで、普段とは異なった良い練習となった。

4月19日の海上パトロールも接触を避けるために同乗者はバックシートではなく、スレッドに搭乗してパトロールを実施。この日は西風が非常に強く、操船しにくい状況だったがスピードを抑えて安全航行を心掛けた。また、昨年より導入したドローンの飛行練習も別部隊により実施、パトロール中の水上オートバイの撮影を兼ねて海上を飛行させた。

水上オートバイ部隊は市内沿岸を全体的に航行したが、遠州灘においては若干のサーファーのみ、港湾に入ると多くの釣り人を確認、各所において釣り人の安全確認をしつつ、パトロールを終了。特に異常はなかった。

月初の練習会では沿岸にはたくさんの人の姿があったが、19日の海上パトロールではその姿はほとんどなかった。しかし、暖かくなり、今まであまり見受けられなかった親子連れや小中学生が沿岸で見受けられるようになったため、危険な場所を知らず事故につながってしまう可能性も考えられる。特に磯場などに注意してパトロールを行っていきたい。

